

西伊豆健育会病院

栄養科 北館智子

功 績	摂食嚥下障害患者への誤嚥リスクの減少を目的に多職種連携、提供形態の変更と同時にコスト削減にも貢献した功績
推 薦 者	栄養科 リーダー倉田健司
推 薦 理 由	STを中心に他職種と積極的に情報共有し、当院で提供していた嚥下障害者用のお茶ゼリーをトロミ剤の変更をする事で、お茶トロミ水へ変更し患者の誤嚥リスク低減と食事量の確保に努めた為、推薦します。

内 容

北館智子は管理栄養士として、日々業務に取り組んでいる職員です。

北館は入職後から院内のミールラウンドに積極的に取り組んでいました。当院でSTが入職した際には、積極的に情報共有と指導を受け、摂食嚥下に課題のある患者に適した食事形態を模索していました。

STが嚥下評価にトロミ水を用いている事にヒントを得て、当院のお茶ゼリーは本当に患者に適しているか疑問に持ち、STや他の看護職員等と情報共有する中で当院でのお茶トロミ水の提供に踏み切りました。

お茶ゼリーは時間経過や口腔内の温度で少なからず離水してしまい又、口腔内でバラける事があり、誤嚥のリスクを完全に抑えることができていませんでした。また患者に飲み物として認識してもらうことが難しかった側面もあります。

お茶トロミ水へ変更後は、病棟より患者がお茶トロミ水を飲み物と認識しやすくなり飲水量が上がっている等の声が上がっています。

今回、院内で使用していたトロミ剤の見直しをするきっかけを作り、トロミ剤の値段の見直しからコストの削減を実施することもできました。

※ソフティアS 3343円/kg → ネオハイトロミール 2110円/kg

以上の事を踏まえて、北館智子を理事長賞へ推薦します。

栄養科では、特に高齢で栄養摂取の難しい患者に対しての栄養状態の改善と入院中の楽しみとしての食事の提供に今後も力を注いでいきます。